

☼ 法華宗オリジナル ☼

『ご家庭仏壇用 過去帳』・『宗章紋入り 過去帳台』
頒布中!



法華宗オリジナル『ご家庭仏壇用過去帳』は、表地の金襷に「鶴丸」の紋をデザインして織り込みました。

内容は、日蓮大聖人ご真筆を頂戴して謄製いたしました。特に扉の御曼荼羅は大本山鷲山寺に伝わるご本尊を拝写いたし、各日のお題目は大本山光長寺蔵ご本尊より謹んで抽出いたしました。また日蓮大聖人のご聖日や四大本山の開基聖人のご命日なども記して、今までにない法華宗のオリジナルとなっております。

『宗章紋入り過去帳台』は、法華宗宗章紋をニヶ所に張り付けた法華宗のオリジナルです。

檀信徒のみならず、信心増進の一助として、是非、この機会にお求めください。

頒布員加料(送荷料込み)

- ◎『ご家庭仏壇用過去帳』 6寸(たて約18cm) 3,500円
4.5寸(たて約14cm) 2,500円
4寸(たて約12cm) 2,300円
- ◎『宗章紋入り過去帳台』 6寸用 6,500円
4.5寸・4寸用 5,800円

お申込みは、法華宗教化センター宛へお申込み下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-19-1
法華宗宗務院内 法華宗教化センター
電話:03-5614-3055 FAX:03-5614-3056

寺院・教会名

情けは人の為ならず・・・

情けは人の為ならず

人が困った時に手を差し伸べるといふ行為は、その人が情けに甘えて、自らの努力をしなくなってしまう、情けをかけるという行為が人のためにならず逆効果を生んでしまう。このことわざの意味をこのように理解している人はいないでしょうか？

情けは人の為ならず

人が困った時に手を差し伸べるといふ行為は、めぐりめぐっていは自分自身に善い報いが返ってくる。情けをかけるということは、人のためではなく、自分の為である。というのが本当の意味です。

このことわざは「仏教の一匹罽毘」の「一匹罽」といふことと本来、人と人とは「繋れあつて生きていくことを教えてくれています。「情け」といふ言葉も同様にあまり良い意味にとらえられていないようですが、本来の意味は「人間の心・物をあわれむ心」です。

日頃私達は知らず知らずのうちに、何か一つの行為をするにしても、これだけの事をすればという「因」、その結果これだけのみかえりを求めての「果」があるであろう、と考えがちです。しかし「情け」といふ人間の心を持ち、みかえりを求めず、人に親切にする行為によってのみ、本当の果徳を得ることができません。

春秋のお彼岸だけに限らず、常彼岸の心を持って努力しましょう。

